

# 早稲田大学における リカレント教育の取組みについて

2026年2月26日

早稲田大学 副総長

須賀晃一

# 早稲田大学の社会人教育の歴史

## ◆ 「早稲田講義録」

- ・ 創立から4年後の1886年より発行
- ・ 全国津々浦々、海外にも送り届けられた
- ・ 1886年から70年間で、200万人を超える購読者
- ・ 受講者には、早稲田大学第4代総長・田中穂積、歴史学者・津田左右吉、政治家・田中角栄ら

## ◆ 「巡回講話」

- ・ 早稲田大学の教員が全国各地へ赴いて講義。
- ・ 1893年より開始。学問の普及につとめる。

## ◆ 「ユニバーシティ・エクステンション」の理念

- ・ 「大学開放」「大学拡張」の意
- ・ 19世紀後半に欧米諸国で興隆した高等教育普及運動で、早稲田大学にも積極的に取り入れられた
- ・ 「早稲田講義録」と「巡回講話」によって、早稲田大学の名は全国へと広まった

# 近年の動向

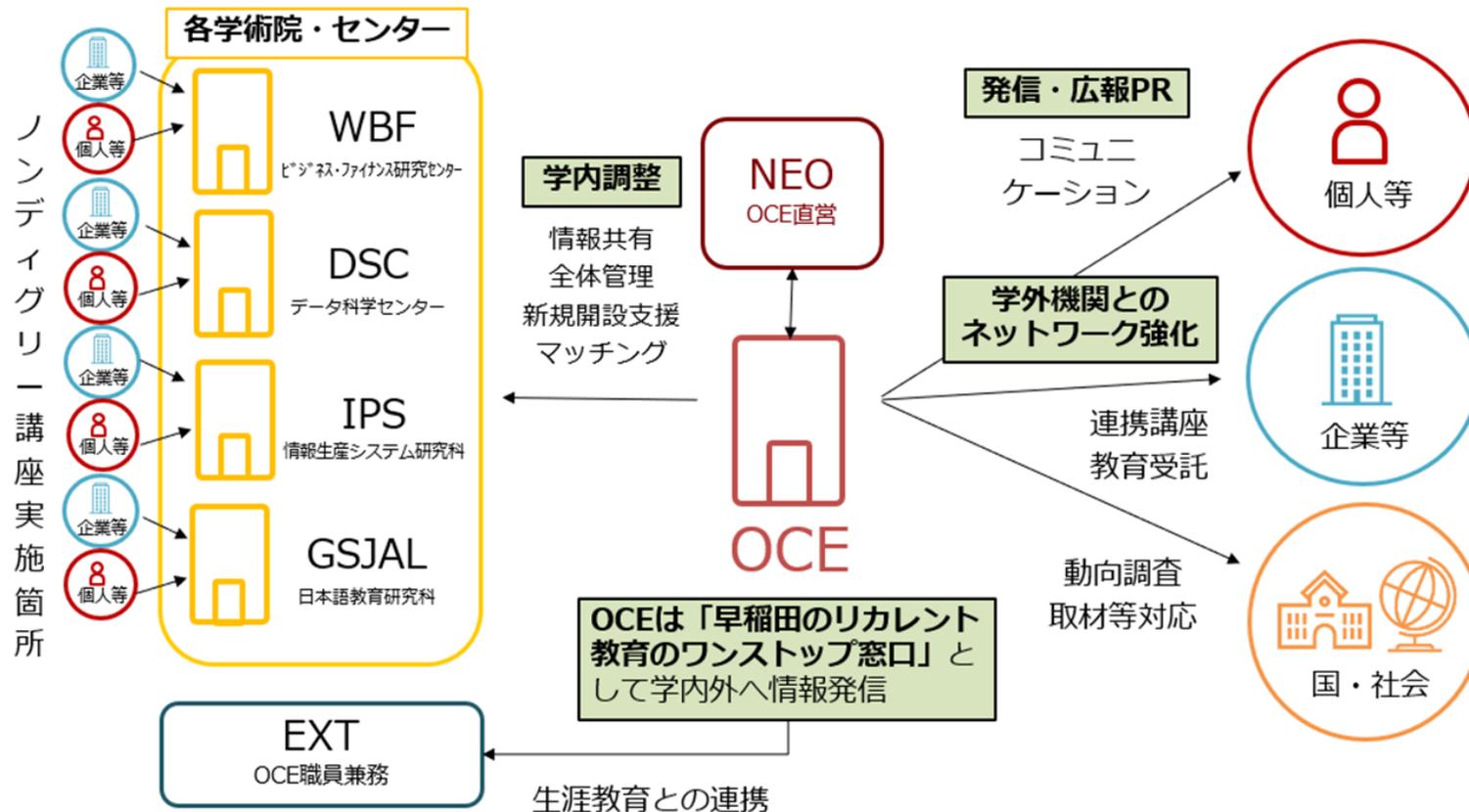
- 1979年 エクステンション事業準備室開設
- 1981年 エクステンションセンター発足
- 2012年 Vision 150 の社会人教育の拡充のプロジェクトで、2032年までに年間のべ5万人（その後8万人に上方修正）のノンディグリー受講生という目標を設定
- 2017年 社会人教育事業室設置
- 2017年 ファイナンス研究センターとWBS研究センターを土台として早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター発足
- 2018年 早大初の履修証明プログラム「21世紀のリーダーシップ開発」開始、次いで「スマートエスイー」開始
- 2022年 「早稲田マーケティングカレッジ」など3つの履修証明プログラムを社会人教育事業が開始
- 2025年 社会人教育事業室を「コンティニューイング・エデュケーション推進室（OCE）」に改称
- 2025年 OCE主催の「早稲田CMO Program」を含み、早大全体で「文部科学省 リカレント教育エコシステム構築支援事業」4プログラムが採択

\* ノンディグリー教育の年間延べ受講者数＝約4.0万人(2024年度)

# 学内のリカレント教育実施体制

## ◆ 「コンティニューイング・エデュケーション推進室（OCE）」の設置（2025年4月）

- ・ 持続可能な**社会貢献**として、早稲田のリカレント教育・生涯教育を**拡大・推進**
- ・ 早稲田リカレント教育のワンストップ窓口機能



# OCEの主な業務内容

## ① WASEDA NEO事業の推進

- － 社会人向け講座（主としてビジネスパーソンを対象）の企画・運営
- － 事業企画、広報、経理、日本橋キャンパス管理、総務、システム等の事務業務

## ② 全学のリカレント教育・リスキリングプログラムの推進

- － 全学のリカレント教育に関する情報発信
- － 各箇所を実施するリカレント教育やリスキリングプログラムの管理・調整など

# 社会人のための入学試験

正規課程

## 社会人入試、AO入試等を実施している研究科

政治学研究科、経済学研究科  
法学研究科（社会人向けコース）  
基幹・創造・先進理工学研究科  
教育学研究科  
人間科学研究科  
社会科学研究科  
スポーツ科学研究科  
国際コミュニケーション研究科  
アジア太平洋研究科  
日本語教育研究科  
情報精算システム研究科  
法務研究科（3年標準課程）  
会計研究科  
環境・エネルギー研究科  
経営管理研究科

## 社会人入試を実施している学部 （1年次入学）

政治経済学部  
スポーツ科学部

## 学士入学・3年次編入学を実施している学部 （3年次入学）

<学士入学>  
商学部、社会科学部、国際教養学部を除くすべての学部  
<3年次編入学>  
基幹・先進理工学部

社会人を対象とした特別な形態での入学試験。正規課程（学士・修士）が対象。社会人経験等を評価し選考を行う。

# 夜間開講の大学院

正規課程

## 夜間開講を実施している研究科

法学研究科（社会人向けコース）

創造理工学研究科 経営デザイン専攻（※）

社会科学研究科（※）

経営管理研究科

<夜間主総合、夜間主プロフェッショナル（マネジメント専修・ファイナンス専修）>

※昼夜開講制であり、一部昼間の授業を受講しなければ学位を取得できない可能性も有

仕事を続けながら夜間中心の大学院で学ぶ（正規課程・修士）

## 短縮コースを設置している研究科

法学研究科 先端法学専攻（知的財産法 LL.M. コース・1年制）

創造理工学研究科 経営デザイン専攻（社会人特別履修プログラム1.5年制）

人間科学研究科（修士課程1年制・教育臨床コース）

スポーツ科学研究科（修士課程1年制<エリートコーチングコース>を除く）

通常の修業年限よりも短い期間で集中して学ぶ（正規課程・修士）

# 専門職大学院

正規課程

## 早稲田大学の専門職大学院

法務研究科（法科大学院）	：	法曹（裁判官、検察官、弁護士）
会計研究科	：	会計のプロフェッショナル（公認会計士等）
経営管理研究科	：	経営に関する専門能力を養う。MBA。
教育学研究科（高度教職実践専攻）	：	教員の実務能力やリーダーシップ養成

## 「高度専門職業人」の養成に目的を特化した課程

### < 認定要件 >

- 1：少人数教育、双方向的・多方向的な授業、事例研究、現地調査などの実践的な教育方法をとること
- 2：研究指導や論文審査は必須としないこと
- 3：実務家教員を一定割合置くこと

# 科目等履修生制度

非正規課程

## 出願資格

原則として、学部は高校卒業以上、大学院は学部卒以上。  
但し、それぞれ同等の学力を有すると認められた場合に出願できることもある。

## 履修可能な科目

各学部・大学院・グローバルエデュケーションセンター等の特定の科目。  
年間で履修できる単位数の制限有。  
※実施していない学部・研究科もある

## 選考方法

書類選考、面接、筆記試験、口述試験、小論文など。  
※学部・研究科により異なる

## 聴講料

講義は原則として半期科目2単位（通年科目は4単位）で、1単位あたりの聴講料は学部・研究科によって異なる。

大学（学部・大学院）への正規の入学ではなく特定の科目のみを履修可能な制度。  
要件を満たせば、単位の認定が認められる。

# エクステンションセンター

非正規課程



EXT 早稲田大学  
エクステンションセンター

ENHANCED BY Gooq



エクステンションセンターについて

申込・受講のご案内

受講生の声・講師メッセージ

パンフレット・広報誌

お問い合わせ

## 講座検索・申込

通常申込：2021年度 春講座 受付期間：2021年3月11日（木）9:30～

※外国語講座 コースレベル選択の目安



文学の心



日本の歴史と文化



世界を知る



芸術の世界



人間の探求



くらしと健康



現代社会と科学



ビジネス・資格



外国語（英語）



外国語（英語以外）



提携・協力講座



WASEDA NEO  
共同実施講座



1981年発足。早稲田大学の研究・教育機能を広く公開することを目的に早稲田・中野において講座を展開。「オープンカレッジ」として歴史や芸術、ビジネス、外国語等の10ジャンル、年間約1,800講座を開講し、延べ約32,000人が受講。

# ビジネス・ファイナンス研究センター

非正規課程

Developing Global Business Leaders for the Future

未来のグローバルなビジネスリーダーの育成

## <エグゼクティブ教育>

- ・トップマネジメント研修
- ・EMBA Essence
- ・エグゼクティブP（企業革新戦略講座）
- ・エグゼクティブP（シニア・マネジメント講座）
- ・ファミリービジネス経営革新プログラム
- ・女性シニアリーダー育成プログラム
- ・ミドルからの変革プログラム
- ・ネクスト・リーダー・プログラム（NLP）
- ・MBAエッセンシャルズ
- ・ファンドマネジメント講座
- ・インベストメント・バンキング講座

<企業研修（カスタマイズ研修）> など



Institute for Business and Finance  
早稲田大学 ビジネス・ファイナンス研究センター

早稲田大学ビジネススクール（WBS）と連携し、ビジネス・ファイナンス分野の基礎的・応用的研究を通じて得た研究成果を生産・発信し、教育の現場や広く社会に還元することを目的としている。

エグゼクティブ教育活動、企業・団体・外部研究機関との共同研究や受託研究などの研究活動、出版、講演、シンポジウムなどを展開。

# WASEDA NEO

非正規課程

WASEDA  
NEO  
WASEDA NEO  
早稲田大学 日本橋キャンパス

講座を探す プログラム コンセプト アクセス お問い合わせ

USER LOGIN  
ユーザーログイン

“「何か」を変えたい。  
そう考える人たちのまなびと交流の場”

※“NEO”は  
N :Nihonbashi  
(またはNew)  
E :Educational  
O :Outreach  
の意

12 seminar posters are displayed in a grid. Each poster features a red header with the word 'オンライン' (Online) or 'オンデマンド' (On-demand). The posters include the following titles and dates:

- 刺さる映像の作り方とは? (2021.4.27 TUE 19:00-21:00)
- ホワイトボード・ミーティング@デジタル版 (2021.5.7 FRI 19:30-21:00)
- 描いて伝える! 「図解力講座」 (2021.5.12 WED 19:00-20:30)
- マネジメントに活かす「禪」の智慧 (2021.5.13 THU 19:00-20:30)
- 消費者(ユーザー)サイト実践講座 (2021.5.13 THU 19:00-20:30)
- 権力(power) (2021.5.13 THU 19:00-20:30)
- 21世紀のリーダーシップ開発 (2021.4.7 WED 15:00-17:00)
- 対峙力 (2021.3.26 FRI 19:00-20:30)
- 「ほめ達!」リーダーシップ講座アドバンスコース (2021.4.7 WED 19:00-20:30)
- 【実践編】ワクワクするオンラインワークショップ作り (2021.4.7 WED 15:00-17:00)
- メディアが食いつく「情報」の作り方 (2021.4.13 TUE 19:00-21:00)
- オンラインミーティング@デジタル版 (2021.4.14 WED 19:00-20:30)

日本橋キャンパスで展開する社会人教育のため拠点。主にビジネスパーソンの学びと交流の場として、最先端のビジネスピックを扱った各種セミナー、ビジネススキル習得を目的としたプログラム等を提供。近年は特に「履修証明プログラム」の開発に力を入れている。

# 早稲田大学の履修証明プログラム

非正規課程



## ◆スマートエスイー（IoT/AIコース／DXコース）

早稲田大学 履修証明プログラム



### スマートエスイー

ースマートシステム&サービスおよび  
DX推進を担う人材の産学連携育成ー

Smart Systems and Services innovative  
professional Education program

- ーAI、IoT、ビッグデータ、人工知能の各技術を活用したスマートシステム&サービス分野
- ーIoT/AIコースは120時間の訓練期間。職業実践力育成プログラム（BP）認定。教育訓練給付金（専門実践）認定。DXコースは90時間の訓練期間。教育訓練給付金（特定一般）認定。
- ー監修：鷺崎広宜（理工学術院総合研究所 最先端ICT基盤研究所・教授）

# 早稲田大学の履修証明プログラム

非正規課程



## ◆早稲田リーダーシップカレッジ



- － 「権限によらないリーダーシップ」の獲得と、他者のリーダーシップ開発を行う”リーダーシップ教育者”の育成を目的としたプログラム。訓練期間は120時間。
- － 職業実践力育成プログラム（BP）認定。教育訓練給付金（専門実践）認定。
- － 監修：日向野幹也（グローバルエデュケーションセンター・教授）

<https://wasedaneo.jp/service/certificate-programs/leadership/>

# 早稲田大学の履修証明プログラム

非正規課程



## ◆早稲田マーケティングカレッジ

早稲田大学 履修証明プログラム

# 早稲田マーケティングカレッジ

—次世代のマーケティングを学ぶ総合講座—

Waseda Marketing College

※旧プログラム名称：「デジタル時代のマーケティング総合講座」

- 「次世代のマーケターとしての総合力」を養成することを目的としたプログラム。訓練期間は80時間。
- 職業実践力育成プログラム（BP）認定。教育訓練給付金（特定一般）認定。
- 監修：守口剛（商学学術院・教授、コンティニューイング・エデュケーション推進室長）

# 早稲田大学の履修証明プログラム

非正規課程



Brush up Program  
for professional

## ◆データサイエンス実践講座



- データサイエンティストとして必要な基礎的な理論と技術を習得することを目的としたプログラム。訓練期間は108時間（オンライン60時間、オンデマンド48時間）。
- 職業実践力育成プログラム（BP）認定。教育訓練給付金（特定一般）認定。
- 監修：小林学（データ科学センター・教授）

# 早稲田大学の履修証明プログラム

非正規課程



## ◆キャリア・リカレント・カレッジ

早稲田大学 履修証明プログラム

## キャリア・リカレント・カレッジ

～ミドル・シニア世代が自分らしいキャリア後半を設計する実践講座～

- －ミドル・シニア世代（40歳～65歳）の方々が、ライフキャリア（仕事を含む人生の自己実現）を主体的に形成するための素地を身につけることを目的としたプログラム。訓練時間は71.2時間。
- －職業実践力育成プログラム（BP）認定。教育訓練給付金（特定一般）認定。
- －監修：池口武志（一般社団法人定年後研究所・理事所長）

# 早稲田大学の履修証明プログラム

非正規課程

## ◆早稲田公共政策カレッジ（2025年度新規開講）



- 学術・実務双方からの幅広い視野からの総合的な学びを通じて、行政現場における政策形成・立案能力および実行力を養成する。訓練時間は91時間。
- 地方自治体をはじめとする行政現場の運営に関わる方々が主な対象。
- 監修：稲継 裕昭（政治経済学術院・教授）

# 早稲田大学の履修証明プログラム

非正規課程

## ◆Life Redesign College



- 50歳以上の方を対象。人生100年時代における人生の後半を見据え、自分らしいこれからの生き方を再設計することを目的としたプログラム。訓練期間は1年間。
- 監修：守口剛（商学学術院・教授、コンティニューイング・エデュケーション推進室長）

# 文部科学省「リカレント教育エコシステム構築支援事業」

事業内容			
	主な補助対象	リスキリング対象者	成果
メニュー① 【地方創生】	地方自治体・地方大学	中小企業の経営者や地域ニーズを踏まえた人材	産学官金労言等の連携による地方創生
メニュー② 【産業成長】	最先端の教育研究を行う大学	成長分野(DXやサプライチェーン・マネジメント等)に関わる人材	産業成長や構造転換への対応

※支援対象:プラットフォームや協働体制構築経費、産学官連携コーディネーター等の人件費、外部講師への謝金等

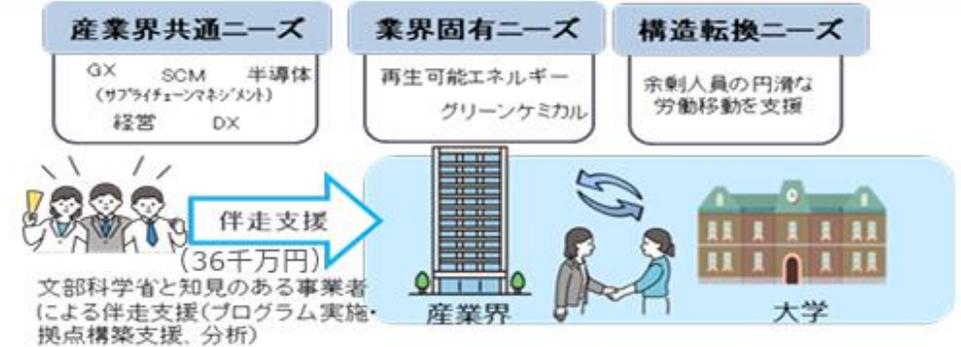
## ①地方創生

産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援  
(約4千万円×25か所)



## ②産業成長

リカレント教育による新時代の産学協働体制構築事業  
(約4千万円×18か所)



- ・ 上記事業の①が1つ、②が3つ、合計4つのプログラムが採択

| 早稲田大学社会人向け教育プログラム |

# CMO Program

— 企業経営を牽引するマーケティングを学ぶ総合講座 —

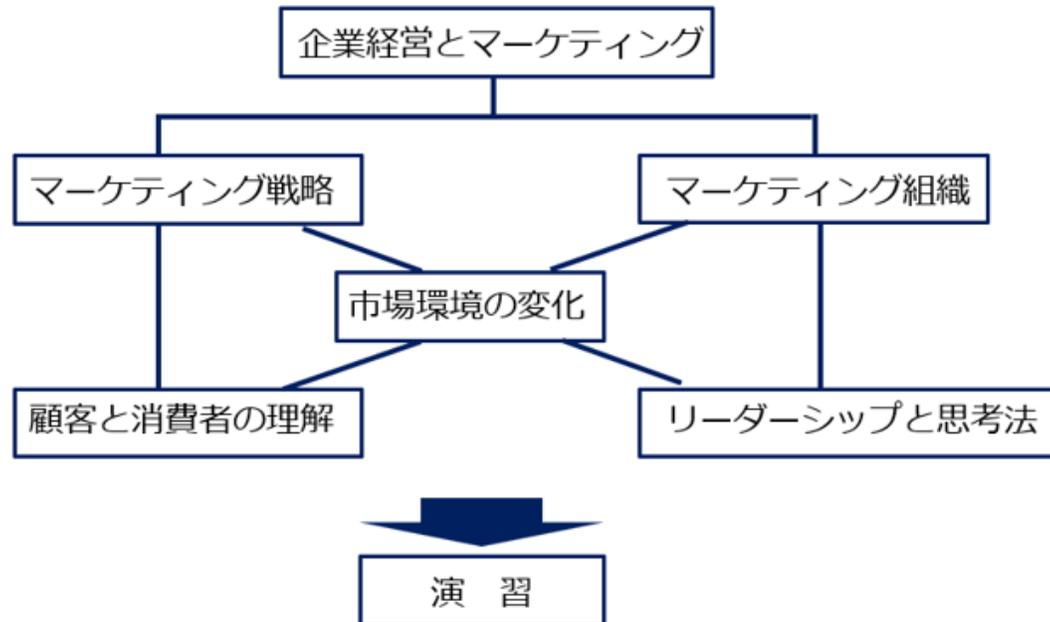
2025年10月開講 開講期間：2025年10月7日（火）～2026年3月3日（火）

本プログラムは文部科学省「リカレント教育エコシステム構築支援事業」に採択され、同省からの補助金を得て実施するものです。

[パンフレットをダウンロード](#)

## 総合的な学び

「企業の成長と収益性向上を牽引するマーケティング」に関する理論と実践知を学ぶカリキュラム



- ・マーケティングの理論と実践
- ・学术界と産業界の知見
- ・思考力と実践力
- ・アートとサイエンス
- ・知の探索と深化



CMOとしての  
総合力の養成

## 学修成果報告会

### 演習課題

「自社のマーケティング課題の整理と解決に向けた計画策定」

- ・プログラム最終日に演習課題を発表
- ・プログラム終了後に、演習課題およびプログラムの学修成果を自社内で報告 → 社内への波及効果

### 著名な講師陣

Jon Iwata (Yale大学Executive Fellow、元IBMチーフブランドオフィサー)  
Thomas Barta (CEO of the Marketing Leadership Institute)  
楠木建 (一橋大学特任教授)、内田和成 (早稲田大学名誉教授)  
足立光 (ファミリーマートCMO)、笹本裕 (DAZN Japan CEO)  
森井久恵 (スターバックス コーヒー ジャパンCEO)  
山口有希子 (パナソニック コネクトCMO)  
西口一希 (Strategy Partners代表)  
西山茂 (早稲田大学教授)、井上達彦 (早稲田大学教授)  
小野譲司 (青山学院大学教授)、守口剛 (早稲田大学教授)、他...

# 早稲田大学：観光地域経営人材育成プラットフォーム構築支援



WASEDA University  
早稲田大学

北海道

観光地域経営人材育成プラットフォーム

産業界

本プロジェクトでは①観光地域経営人材育成エコシステムのプロトタイプを構築し、②その段階的な横展開モデル確立を目指す。中長期的には、全国の観光地域経営エコシステム間で方法論や情報の共有を可能にする、プラットフォームネットワークへと発展させることを目標とする。

その他  
(メディア)

大学

行政

金融  
機関

## <プラットフォームの概用(座組)>

	産業界	大学	行政	金融機関	メディア
構成	(株)イー・シー、 いけじま企画、 Clutch.55株式会社など	早稲田大学 大学院経営管理研究科、 北海道大学大学院 メディア・コミュニケーション研究院	北海道運輸局 観光部	北洋銀行 公金・地域産業支援部	(株)北海道新聞社
役割	観光業界の専門家として現場感に裏打ちされた知見の提供	エコシステムの構築、経営戦略等の知見の提供とプロジェクトの形式知化	地域課題の提供、地域のエコシステムプレイヤーの特定・紹介・調整	企業の紹介および観光地域経営における財務知見の提供	本活動のプロモーション支援

## プラットフォームの特徴

- 実践（観光における現場感）と理論（海外の先端知見を含む）のバランスが取れたプラットフォームメンバーである
- 観光地域経営の方法論は国内で発展途上だが、実践的展開に柔軟に対応できる

## プラットフォームで取り組む地域課題

- 日本は観光において膨大な潜在性を持つが、その可能性を活用しきれていない。特に北海道では、一部地域でオーバーツーリズムが発生するなど、収益を伴いながら地域住民にも恩恵をもたらす、より適切な観光地域経営が喫緊の課題となっている。

# 【経営/リーダー（候補）人材】早稲田大学： The Global Leader Acceleration Programme（GLAP）



WASEDA University  
早稲田大学

## プログラム開発・実施について

### 期待される学修効果

本プログラムでは、変化し続ける社会経済情勢に対応し、企業が持続的な成長を遂げるために不可欠な3つの力を育成する。「**グローバルな視点と将来構想力**」、「**変化への対応と変革推進力**」、そして「**多様な人材を率いるリーダーシップ**」である。これらの能力を総合的に高めることで、受講者は自社を主語に未来を構想し、変化をチャンスに変え、組織を成功に導く原動力となることを目指す。本プログラムを通して、次世代リーダーとしての成長を力強く支援する

## 企業環境を俯瞰し、戦略・パーパスを設計する力

グローバルな視点と将来構想力	変化への対応と変革推進力	多様な人材を率いるリーダーシップ
<p>グローバルな社会・経済・産業について俯瞰して、自社を主語にして将来を構想できる力</p> <ul style="list-style-type: none"><li>世界の政治経済ドライバー理解と構想</li><li>サステナビリティ潮流理解と構想</li><li>デジタル技術トレンド理解と構想</li></ul>	<p>これまでになく変化が速く大きく起こっている時代において、企業が持続的な成長を実現できるように変革していける力</p> <ul style="list-style-type: none"><li>企業ビジョン構築力</li><li>企業戦略・事業戦略・機能戦略構築力</li><li>トランスフォーメーション設計・実行力</li><li>トランスフォーメーション問題解決力</li></ul>	<p>多様なステークホルダー、様々な人材、複雑な組織を効果的かつ効率的に率いていけるリーダーシップ力</p> <ul style="list-style-type: none"><li>メッセージ発信力</li><li>エンゲージメント力</li><li>ロールモデル力・スポンサー</li><li>メンター力</li></ul>

◆毎年本プログラムに継続的に人材を送り込むことで、**組織内に新たな視点やスキルを持った次世代経営人材が増え、企業の重要な資産となる。**

◆**これらの人材は、企業全体の成長を促進する原動力となり、企業の競争力強化、持続的な成長に大きく貢献する。**

# 三菱電機とのDX人材育成における産学連携

産学連携によるデジタルトランスフォーメーション（DX）人材育成を推進するため、早稲田大学データ科学センターと三菱電機人財統括部の間で箇所間協定を締結した（2025/3/27）。

## 【連携内容】

- ①データ科学分野の社会人向け教育プログラムを活用したDX人材育成の推進
  - 三菱電機向けデータサイエンス教育プログラムの提供（受託教育）
  - スマートエスイー講座での三菱電機グループ社員の受入

### 三菱電機グループの社内研修に教育プログラムを提供

三菱電機グループ従業員向け育成機関であるDXイノベーションアカデミー（2025年4月設立）の社内研修にLMS、コンテンツなどのフルセットの教育プログラムを提供

- ②データ科学分野のキャリア形成支援プログラムを通じた人材育成の推進
  - 本学学生を三菱電機のデータサイエンス関連部署に派遣
- ③相互の人材交流を通じた産学連携の推進

# 2025年度 三菱電機グループ向け講座

開講講座名	特長	三菱電機で対象とするDX人財スキルセット
DX人財育成 データサイエンス 教育プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>早稲田大学の「データサイエンス実践講座」をベースとして、「DXイノベーションアカデミー」用に新規に開発したプログラム</li> <li>データサイエンスの「理論」とビジネス領域で活用できる「スキル」を同時に学ぶことにより、データサイエンスの実践的な活用能力を鍛える。実際のデータを用いた分析やモデル構築を通じて、実践的なスキルを習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データエンジニアリング</li> </ul>
スマートエスイー IoT/AIコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサー技術、データ収集、機械学習など、IoTとAIの最新技術を学び、スマートシステムの設計・開発に必要なスキルを習得</li> <li>ビジネス、アプリケーション、情報処理、通信・物理の4つの専門領域に総合実践を合わせた5つの領域をカバーする科目群を、iCDやRAMI4.0等を参照モデルとして整理し体系化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXアーキテクチャーデザイン</li> <li>DXエンジニアリング</li> <li>DXクオリティアシュアランス</li> </ul>
スマートエスイー DXコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術を活用したビジネス戦略の立案と実行に焦点を当て、戦略的思考を養成</li> <li>PBL（課題解決型学習）やゼミ形式によるDX計画立案を通して、実践的なアジャイルマインドや転移可能なスキルを習得するとともに、抽象化・構想力を養う「ビジネス領域」、活用・実践力を養う「アプリケーション領域」、データ分析力を養う「情報処理領域」、総合力を養う「総合実践領域」の4つの領域をカバーした科目群で構成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXマーケティング</li> <li>ソリューションクリエイション</li> </ul>

## <参考>

### 三菱電機が定めるDX人財のスキルセット

スキルセット (学習コース)	概要
DXマーケティング	デジタル技術でマーケティングを変革する人財を育成
ソリューションクリエイション	デジタルビジネスの企画・推進を担う人財を育成
データエンジニアリング	データの分析・管理を担う人財を育成
UI/UXデザイン	DXサービスのUI/UX設計を担う人財を育成
DXアーキテクチャーデザイン	DXサービスのシステム設計を担う人財を育成
DXエンジニアリング	DXサービスのシステム開発・運用を担う人財を育成
DXクオリティアシュアランス	DXサービスの品質・セキュリティを担保する人財を育成

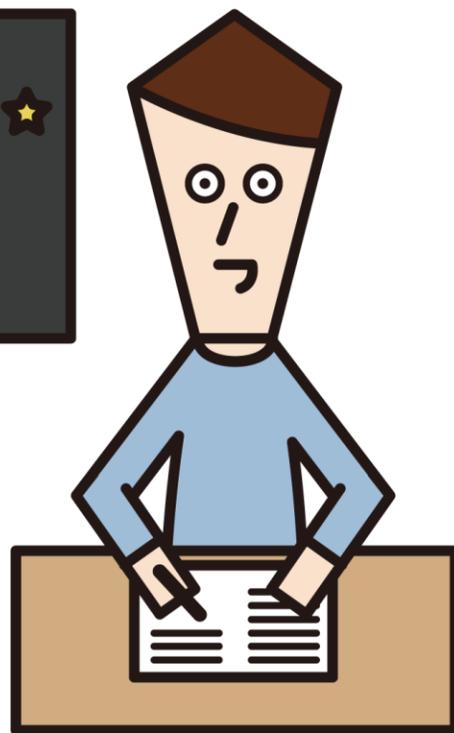
# 現状の課題（早稲田大学の視点で）

## 教員への負担増



大学教員は本来業務だけでも極めて多忙であり、社会人を対象とした教育に注力できる余裕がない。教員にとって、正規授業以外の教育は完全にエクストラ業務扱い。エクストラ業務に従事した場合のインセンティブ（報酬）についても定めがないケースが多い。

# 実施時間の問題



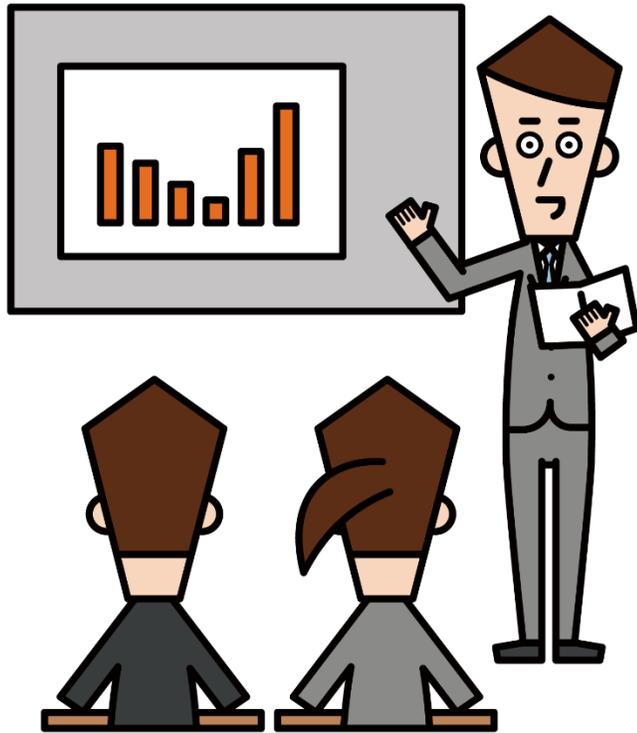
or



社会人向けのプログラムを実施する場合、仕事をしていない時間（平日夜・土日）に実施しなければならず、受講者にとって、仕事と学習の両立は容易ではない。  
また、運営側（教員・事務職員）にとっても大きな障壁となる。

# 実施形態の多様化・高度化

対面



オンライン



オンデマンド



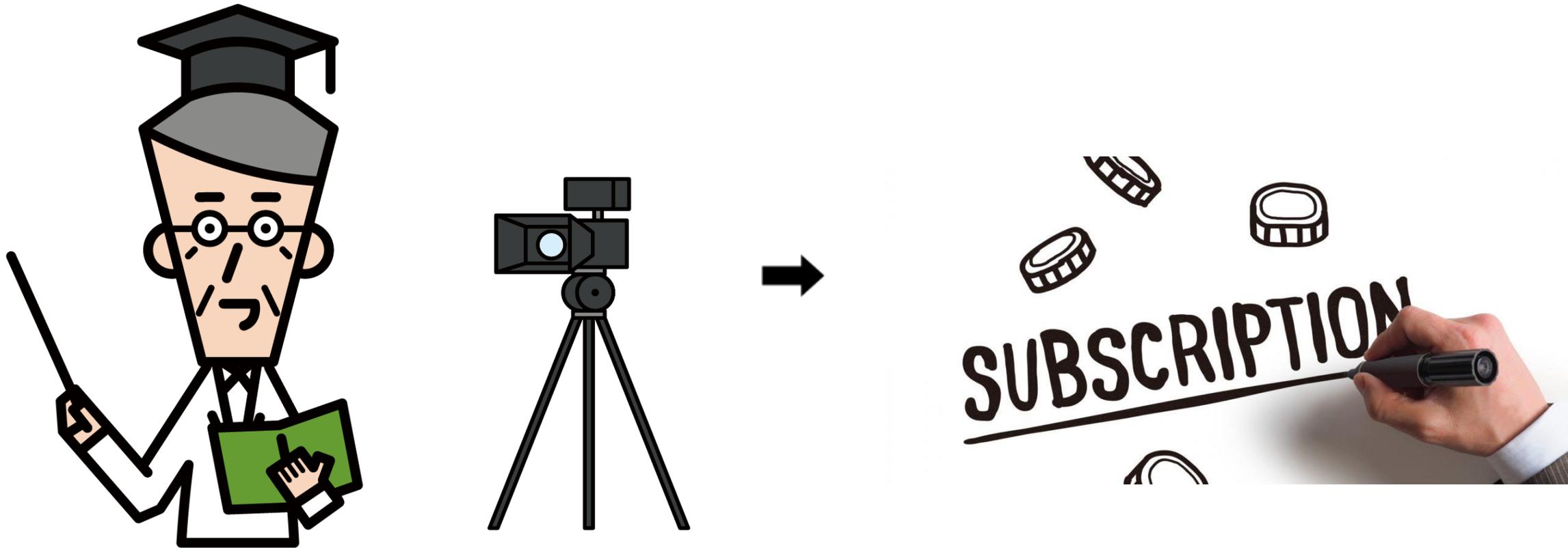
社会人は仕事で多忙であり、希望する受講形態は人によって様々。  
様々な実施形態を組み合わせ、多くの社会人にとって受講しやすい環境を整える必要があるが、運営コスト増。

# 競合多数



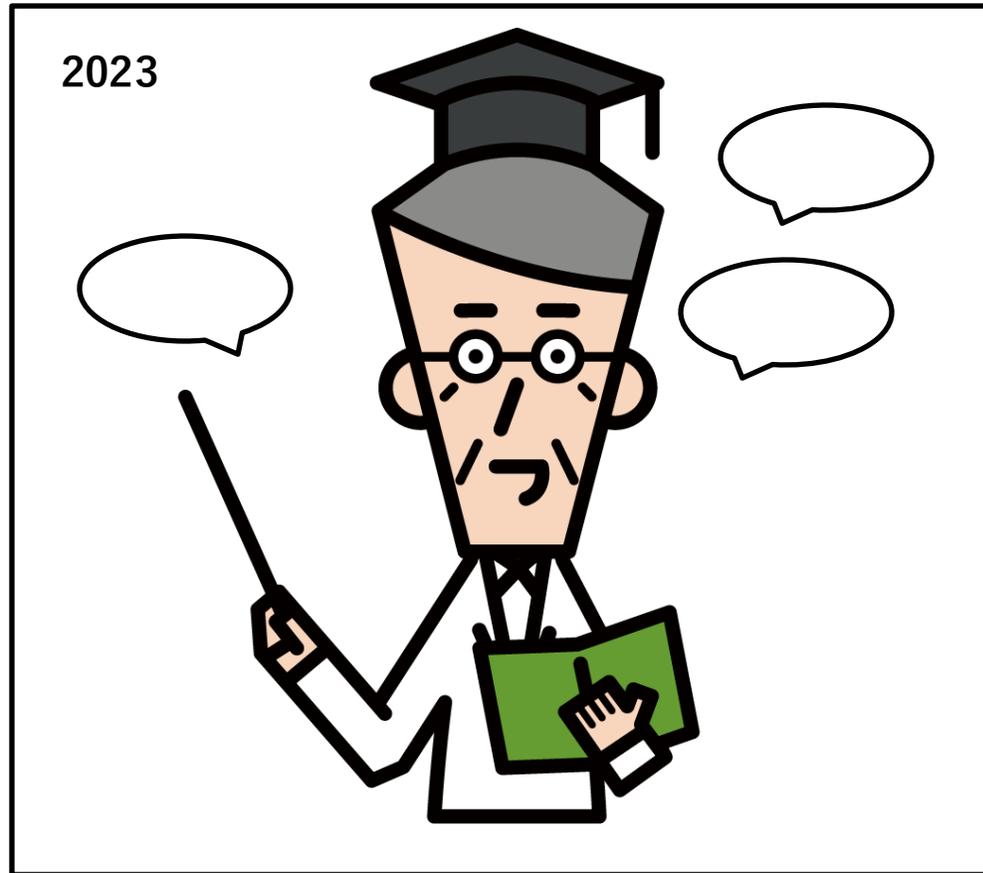
人々の情報収集・自己研鑽の方法は様々。  
大学の強みを生かした、大学ならではのリカレント教育とは何か??

# コンテンツの無料化・サブスク化



良質の教育コンテンツは世界中で録画・アーカイブ化され、無限に増殖。サブスク化・無料化の流れに。一方で、大学が実施するプログラムは比較的高額（数万～数十万）。

# コンテンツの陳腐化が早い



既に古い...

社会環境の変化やテクノロジーの進歩が速く、作成した教育コンテンツの陳腐化が早い。  
スピード感のあるプログラムのアップデートが常に必要。コストもかかる。

# 集客難・収益化難



需要と供給のバランス崩壊。無料化・サブスク化の弊害。

# キャリアパスに直結しない



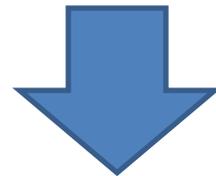
大学でのリカレント教育は就職・転職などの雇用には直結していないのが実状。  
個人の学び直しがまだまだ評価されない環境。

# リカレント教育・リスキリングの必要性 (今後日本に必要な分野であることは間違いない)



**BUT...**

様々な課題や現実とのギャップもある



今後も早稲田大学としての特徴・強みを生かしたリカレント教育とは何かを模索し、社会人にとって必要なコンテンツ開発・提供を継続  
社会人が大学に戻り、学び直しのしやすい環境・気運を醸成する

需要側（個人、企業など）、供給側（大学など）、仕組みづくりに関して国の支援も必要。個人の求める教育のレベル（学部、修士、博士）に応じて支援の仕組み・内容を変える。博士を希望する社会人に手厚い補助が必要。

# 政府に期待すること

- 修士・博士の支援を充実させる
  - ロースクール並みの支援
- 大学と企業の産学連携人材育成プログラムに対する支援
  - 認証制度の導入によるキャリアパスの明示化
- 博士課程までの一貫プログラムの支援
  - 成功事例としてのPEP(卓越大学院「パワー・エネルギー・プロフェッショナル育成プログラム」) 月刊 経団連2024年8月号
  - 新たな試み:カーボンニュートラル大学院副専攻 IDE 2026年4月号
  - ダブルドクターを目指して